

2021年12月17日

《 The Okura Tokyo 》
開業 60 周年の取り組み
2022 年を SDGs アクション元年に
第一弾は CO₂ゼロイベント

株式会社ホテルオークラ東京（所在地：東京都港区、代表取締役社長：成瀬正治）が運営する The Okura Tokyo は、2022 年に開業 60 周年を迎えるにあたり、これを<SDGs アクション元年>として各種活動や取り組みを強化します。その第一弾として、2021 年 12 月 31 日（金）～ 2022 年 1 月 3 日（月）に開催する「お正月イベント」を、CO₂を実質ゼロとする環境に配慮したイベントとして開催します。

施策①：使用電気の再エネルギー化

館内 9 会場（面積計：8,402 m² 稼働時間計：60.5 時間）で使用される電気を「CO₂ゼロ MICE」を活用して再生可能エネルギーに置き換えます。SDGs 気候変動に具体的な対策として、2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を支援します。



* 画像は過去に開催したものです。

施策②：ペーパーレス化

会場内で使用する点数チケットについて、従来の紙製チケットを廃止し、QR コードを活用した事前チャージ式プリペイドカードとします。紙印刷物の削減とともに、決済に関わる人的接触を軽減し、コロナ対策における危機管理の強化を図ります。

CO₂ゼロ MICE

会場で使用される電気を再生可能エネルギーに置き換え CO₂を実質ゼロにする、株式会社 JTB コミュニケーションデザインが提供するサービスです。

実際に使用されたエネルギーが再生可能エネルギーの環境価値としてどれほどなのかを算出し、再生可能エネルギーを調達します。

The Okura Tokyo は本年 7 月に本サービスと契約し、宴会場の利用においても脱炭素社会への実現に向けた具体的なアクションになり得るとして、積極的に推奨しています。



SDGs アクション元年として

当社は1962年の開業時より掲げる「世界に通じる日本の美と心」をそのままに、新時代に映える日本の魅力の発信に努めています。国際都市東京にふさわしい機能を持ったホテルを目指し、ホテル事業を通じ国連が提唱する持続可能な社会の実現（SDGs）への推進活動に直結したビジョンを策定しました。

◆3つの強化項目

開業60周年の節目に当たる2022年は、これまで継続してきた各種活動や取り組みを強化させます。17の持続可能な開発目標を意識し、①脱プラスチックなどの環境保護 ②フードロス削減への取り組み ③ダイバーシティの推進を3つの強化項目と位置付けて、展開します。

◆アクション体制

上記活動に先立ち、11月1日付けにて総支配人室内にSDGs推進室を設立しました。さらに2022年初には本推進室を中心とする「SDGs推進委員会」を立ち上げ、具体的なアクションを加速させます。

◆独自ファンドの活性化

「The Okura Tokyo Cultural Fund」は、芸術・文化の支援活動が光り輝く未来へとつながっていくことを願い、開業55周年を機に設立したもので、「ロビーコンサート25」や「ホテルオークラ音楽賞」など各種催事を通じてファンドへの寄付を募っています。その募金や収益は、主に子供たちの芸術・文化活動の助成に充てられ、2017年から現在までに9件を実施しました。今後も本ファンドを最大限に活用し、催事の枠に留まらない商品・企画で社会貢献へのサイクルを拡充させます。



<寄付・助成実績>

https://theokuratokyo.jp/company/mecenas/cultural_fund/

<寄付先>

<https://culfun.mecenas.or.jp/project/fund/detail/1410>



The Okura Tokyo は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

The Okura Tokyo は新時代に映える日本の魅力を発信し、国際都市東京にふさわしい機能を持ったホテルを目指して「新たな50年に向けてのビジョン」を掲げています。ホテル事業を通じ、国連が提唱する“持続可能な社会への実現”に向けた活動に直結するもので、社内外の各種活動を強化して更なる推進を図り、全社的な取り組みとしてこれに寄与します。

■The Okura Tokyo に関するお問い合わせ先

株式会社ホテルオークラ東京 マーケティング部 広報担当: 松本 / 矢部 / 小栗

TEL : (03) 3224-6731 FAX : (03) 3224-6727 E-mail : pr@tokyo.hotelokura.co.jp